

Gunma Prefectural Cancer Center



群馬県立がんセンターだより

第15号

発行 平成19年9月 群馬県立がんセンター

## 理 念

私たちは、患者さんの気持ち尊重し、安心と満足が得られる高度のがん医療を目指します

## 基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重します
- 2 思いやりの心で、適切ながん医療を提供します
- 3 教育と研修を充実し優れた医療人を育成します

## がん対策基本法施行に寄せて

### —— 禁煙！ がん予防と治療の第一歩 ——

日本では年間30万人以上の方々が、がんで亡くなっています。このがんの撲滅を目指す国家戦略として「がん対策基本法」が本年4月1日より施行されました。

その基本的施策は、

- 1 がんの予防及び早期発見の推進
- 2 がん医療の均てん化の促進
- 3 がん研究の推進等

となっています。

がん対策の第一歩はがんの予防です。厚生労働省のがん対策推進協議会（会長・垣添忠生日本対がん協会会長）は本年5月7日、がんの死亡率を10年間で約20%減らす目標を示しました。がんによる死亡率は、喫煙対策やがん検診の受診率向上により、今後10年間で約19%から約26%減らすことが可能ということです。2005年には約32万5000人が、がんで死亡されていますが、年間10万人のがん死亡の削減を目標とすることも検討しているとのこと。

がんは生活習慣病とも言われています。喫煙は様々ながんの原因の中で、予防可能な単一の要因として最大のものと考えられています。欧米の研究では、がんの原因の約30%は喫煙と考えられています。禁煙することにより、がんのリスクの多くは減少し、禁煙後10年で、喫煙継続者に比べてそのリスクは1/3～1/2にまで減少するといわれています。

喫煙は、本人だけでなく周囲の非喫煙者に対しても、受動喫煙あるいは環境たばこ煙として影響を及ぼします。肺がんでのリスクは、配偶者の喫煙により女性では20%、男性で30%程度増加し、職場でのたばこ煙では12～19%程度増加すると推定されています。

「たばこがなかったら、国内で毎年約48万人発生しているがん患者のうち、約9万人はがんにならずにすむはず」と、2004年厚生労働省の研究班（班長・津金昌一郎国立がんセンター予防研究部部長）は報告し、「禁煙後、たばこの影響がなくなるのは10～20年後。早めの禁煙を」と勧めています。

一方、肺がんと診断を受けた後でも、禁煙することにより喫煙を継続したときよりも身体状態を良好に維持することができるという研究が、米M.D. Anderson Cancer Centerのグループにより胸部疾患の権威ある学術誌Chest誌に2006年報告されています。

喫煙を続けると、放射線治療や抗がん剤治療による副作用が治りづらくなることもよく知られていることです。さらに、喫煙を継続すると、禁煙した場合と比べて、その後、別のがん（2次がん）への罹患率や死亡率が高まるという報告もあります。

WHOの今年2007年の世界禁煙デーのテーマにあるように、「タバコの煙のない環境を実現しましょう」!!



副院長 今 陽 一

## PET/CTとは

当院では、新病院の開院に伴い、2007年5月からPET/CT装置が導入され、PET検査が始まりました。

PET検査では、「がん細胞は正常の細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込む」という性質を利用します。ブドウ糖によく似た物質に目印をつけた検査薬(FDG)を体内に注射すると、がん細胞は正常な細胞より多くのFDGを取り込むので、PET装置で撮影することで、細胞の活動状況を画像化することができ、病気の位置や大きさ、進行の度合いを調べることができます。

当院に導入されたPET/CTは、PET装置とCT装置が一体型となった装置で、PET (Positron Emission Tomography:陽電子断層撮影法)と、CT (Computed Tomography:コンピュータ断層撮影法)を融合させた全身画像を同時に得ることができます。従って、PETだけの画像に比べて、病変の位置とその範囲がより正確に判別でき、診断精度の向上に役立ちます。

全身のがん検索や術後の予後観察等に有効なPET検査ではありますが、PET検査の特性上、炎症などがん以外の病気や正常でもFDGが取り込む場合があります。また、ごく小さながんやブドウ糖を取り込みにくいがんは見つけにくいので、他の検査と併用して総合的に診断することが必要となります。

PET検査では、ブドウ糖によく似た物質を使用するため、検査にあたっては、(1)検査前、5時間以上の絶食、(2)糖分を含んだ飲み物を控える(ただし、糖分を含まない水、お茶は飲んでかまいません)、(3)検査前の過度な運動を控える、等の制限があります。また、妊娠中や授乳中、妊娠の可能性のある方や重度の糖尿病を患っている方は、検査ができない場合もあります。

くわしくは、主治医や検査担当者にご相談ください。



## 入院される患者さんへ～病室のご案内～

新しくなった病室をご案内いたします。

新病院では、患者さんが通常入室される一般病室は4床室となっています(写真(1))。旧病院は6床室でしたので、1人1人の空間に余裕が生まれています。ベッドの間は家具で間仕切りをし、1床ごとに専用洗面台を設けるなど、プライバシーが確保できるような工夫をしました。

また、2種類の特別室(1床室)をご用意しました(写真(2)・(3))。第1特別室は広々としたつくりとなっています。ユニットバスや流し台、冷凍冷蔵庫、液晶テレビ(無料)、FAX機能付き電話など、患者さんのお住まいに近い環境で入院生活を送ることができるように設備を充実させています。また応接セットを設け、面会者が多数いらっしゃる方でも安心してご利用いただけるようにしました。

第2特別室は第1特別室に比べて広さや設備がコンパクトですが、個室であることを重視される方にはご利用いただきやすい部屋としました。

旧病院の1床室はわずか2部屋でしたので、患者さんのご要望に充分お応えすることができませんでした。しかし、新病院では全病床数の3割※を1床室としましたので、より快適な環境を多くの患者さんに提供できるようになりました。

なお、特別室は有料となっています。ご利用を希望される方は、入院申し込み時あるいは申し込み後すみやかに窓口へお申し出ください。(部屋数に限りがありますのでご希望に沿えない場合がありますのでご了承ください。)

※重症室、無菌病室、RI病室、集中治療室を含めています。

### ●新病院病室一覧

区分	1日あたり室料(税込み)	部屋数	床面積
第1特別室	23,000円	7室	36.1㎡
第2特別室	8,500円	67室	16.4㎡
一般病棟	—	55室	37.4㎡



写真(1): 一般病室 (4床室)



写真(2): 第1特別室 (1床室)



写真(3): 第2特別室 (1床室)

新設診療科紹介

歯科口腔外科

新病院開院にあたり歯科口腔外科が新設されました。「口腔外科って、どのような患者さんを診るのですか？」とよく聞かれます。ご存知のように口腔の働きには食物の摂食・嚥下や気道など生命維持にかかわるものから、食べ物を味わう、会話を楽しむ、審美性など、社会生活をおくる上で欠かせない多くの機能があります。口腔外科ではこれら領域、つまり口唇、頬粘膜、上下顎歯槽、口蓋、舌前方2/3、口底、顎骨、唾液腺などに生じる腫瘍性疾患をはじめ、さまざまな疾患が診療対象となります。また当病院の特徴を生かして、がん患者さんの口腔ケアにも取り組んでいます。なお、応急処置を除いて一般歯科治療（虫歯や歯周病、義歯）やインプラント治療などは行っておりません。

対象疾患と治療について簡単に述べます。わからないことがあれば気軽にご相談ください。

●**顎腫瘍性疾患（悪性腫瘍、良性腫瘍）**：早期癌（小さくて明らかな転移のないもの）は9割近くが治癒します。鑑別診断が難しいこともあるため、口内炎様の症状が続くときには受診をおすすめします。癌の発生部位や病期により治療方法が変わります。

●**口腔粘膜疾患（口内炎、白板症、扁平苔癬、口腔カンジダ症、ヘルペス性口内炎など）**：症状が多岐であり全身疾患の一症状としても見られることがあるので注意が必要です。

●**歯性感染症（智歯周囲炎、歯性上顎洞炎、顎骨骨髓炎、蜂窩織炎など）**：内因感染すなわち口腔常在菌による感染であり、虫歯や歯周病から細菌が組織の中に進入増殖して起こります。特に免疫力が低下しているときや合併疾患があるときは重症化しやすく、放置すると生命を脅かすこともあります。

●**口腔ケア**：がん患者さんでは抗がん剤や放射線治療などにより口内炎や歯性感染症など、口腔内合併症を起こしやすくなります。予定したがん治療が継続できるように、歯科衛生士とともに専門的な口腔ケアを行っていきます。

歯科口腔外科医師

歯科口腔外科部長  
山城 正司

医長  
愛甲 勝哉



ふれあい看護体験

新田暁高校 3年 山田 恵利

「がんは治らない病気」。これが私のがんに対するイメージだった。ふれあい看護体験を通して、私の考えていたイメージが変わった。施設を見学して、たくさんのコンピューターや医療機器、いろいろな治療法、そして確実な技術をもった医師の方々を実際に見て、私の知らない間に、医学が日々進歩していることを実感した。そして、がんの治療だけでなく患者さんの不安や心のケアを看護師さんがしていた。患者さん一人一人に声をかけ、話を聞いてあげたり優しく、あたたかい態度でコミュニケーションをとっているところを見て看護師さんと患者さんのお互いの信頼関係が築けていることを感じた。患者さんはがんを患っていると思えないくらい元気で、素敵な笑顔をされていたことが、とても印象深かった。私は、ずっと「がんは治らない病気」だと思ってきたけれど、日々の医学の進歩や患者さんの笑顔を見て「がんは治る病気」、ということに気付いた。だから私も一人でも多くの患者さんを笑顔にできるような看護師さんになりたいと思った。

総合相談支援センターは、今年4月、県立がんセンター内に設置された総合的な相談窓口です。主な業務として、①相談業務、②セカンドオピニオン、③他の医療機関との連携、④がん医療に関する情報の提供——等があります。

① 相談業務

看護師(1人)とソーシャルワーカー(2人)が、医療や生活、精神上的な悩みなど、さまざまな相談に応じています。本院の患者さんやご家族だけでなく、どなたでも相談することができます。相談は無料です。ひとりで悩まず、一緒に考えていきましょう。TEL0276-60-0679(直通)

② セカンドオピニオン

セカンドオピニオン外来（他の病院の患者さんが自分の病状について、本院の医師から意見を聞くための外来）の受付窓口にもなっています。

③ 他の医療機関との連携

本院は、がん専門病院として各医療機関との連携に努めています。本院は「完全紹介予約制」です。受診を希望する方は、必ず主治医の紹介状（情報診療提供書）をお持ちになり、あらかじめ電話で診療日時の予約をお願いします。TEL0276-38-0762（直通）

④ がん医療に関する情報の提供

がん医療に関する一般的な質問にお答えしています。また、各種チラシやパンフレットも用意しています。さらに、本院のホームページ(<http://www.gunma-cc.jp>)から「国立がんセンターのがん対策情報センター」にリンクし、がんに関する情報や一般向けの公開講座等の情報をご覧になれます。

総合  
相談支援  
センター

総合相談支援センターは、地域の方、県民の方が、適切ながん医療を受け、安心して療養できるようサポートします。ぜひ、ご活用ください。

## 外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成19年9月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之 多賀谷蘭子	今 陽一 茂木 健太	野川 秀之 保坂 尚志	今 陽一 多賀谷蘭子(午前) 保坂 尚志(午後)	茂木 健太
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦	村山佳予子	村山佳予子	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来)	湊 浩一		吉野 麗子	
	外科	消化器	岡田 寿之	澤田 俊夫 深井 康幸	中村 哲之 平山 功 瀬瀬真一郎	芳賀 紀裕 友澤 滋	河野 至明 鮫島 伸一 平山 功
		乳 腺	柳田 康弘 木下 照彦 藤澤 友巳	柳田 康弘 木下 照彦 藤澤 友巳	乳腺科医師	乳腺科医師	
		呼吸器			田中 良太		田中 良太 ストマ外来
第二外来	婦 人 科	伊吹 友二 (西村 俊信)	西村 俊信		西村 俊信	西村 俊信	
	歯科口腔外科	山城 正司 愛甲 勝哉		山城 正司 愛甲 勝哉		山城 正司 愛甲 勝哉	
	頭 頸 科	藤城 芳徳 明石 健		藤城 芳徳 明石 健		藤城 芳徳 明石 健	
	麻 酔 科	高橋 利文			猿木 信裕		
	泌 尿 器 科	清水 信明 蓮見 勝	清水 信明 濱野 達也		蓮見 勝 (午前) 濱野 達也 (午前)	清水 信明	
放射線科	放 射 線	玉木 義雄 北本 佳住		玉木 義雄 北本 佳住		玉木 義雄 北本 佳住	
総 合 診 療		湊 浩一	澤田 俊夫	中村 哲之	今 陽一	河野 至明	

## 病院ボランティア募集

当センターでは、ボランティアの暖かい手助けにより、患者さんが心の安らぎを得られるような環境作りができればと考えています。

ボランティア活動に興味をお持ちの方は、ご応募ください。

- 活動内容 外来での案内・補助、院内の美化活動、環境整備活動、コンサート
- 活動時間 平日(土・日、祝祭日を除く)の8:30~17:15で、都合の良い時間
- お申し込み・問い合わせ先 総務グループ 内線4112



**初診受付時間** 平日 午前8時30分~午前11時

(土・日曜日、祝祭日、年末年始は休診です。)

**診察予約** (初診、再診ともに予約制です。)

- 初診紹介予約制について  
当センターを初めて受診される場合は、かかりつけの医師の紹介状(診療情報提供書)と電話による予約が必要です。
- がん検診について  
当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っていません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

**予約電話 0276-38-0762**

- 受付時間: 午前9時から午後5時  
土・日曜日、祝祭日、年末年始は除きます。
- 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時まで  
をお願いします。

**面会時間** 午後0時30分~午後7時30分

## 群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1

TEL 0276-38-0771 (代)

FAX 0276-38-0614

URL <http://www.gunma-cc.jp>

